

組合支援 ウォッチ

急な出張などなど、当日の宿探しは「探宿DIAL」で！

レベニューシェアパートナーズ企業組合（福岡県福津市、理事長：村上邦雄氏）は、当日泊まれる宿泊施設の空室情報提供サービス「探宿DIAL」を12月中旬にスタートさせる。

ホテルや旅館は、旅行会社や宿泊予約ポータルサイトと契約して宿泊客を集めるほか、自社のホームページからも予約を受け付けるなどし、空室を出さないための様々な手法を展開している。旅行会社や宿泊予約ポータルサイトに客室販売を委託した場合、要求された部屋数を一定期間預けなければいけなかったり、宿泊料金から業者ごとの定率手数料の支払いが必要となり、利益率圧迫の原因となっている。

一方、消費者側では、急な出張や残業などで宿泊先を探さなければいけない場合、当日の空室を確認するためには宿泊予約ポータルサイトへ登録して施設を探したり、あちこちの施設に電話をかけたりしなければならず、手間がかかっている。

こういった双方のニーズに応えるサービスとして、同組合では「探宿DIAL」を企画開発。「探宿DIAL」では、その日空いている宿泊施設だけをスマートフォンの画面上に表示させ、最小限の操作だけで選択した施設に電話をかけて宿泊予約することが可能である。また、施設側も特別な設備投資は必要なく、インターネットに接続されたパソコンさえあれば、空室情報の提供・管理が可能である。

宿泊先を探す人は、スマートフォンアプリ「探宿DIAL」をダウンロード（Google Play及びApp Storeにて無料で配信中）し、画面の指示に従って「施設の種類」「宿泊者数」「エリア」を選択すると、空室情報を提供している施設の一覧が表示される。宿泊したい施設をタップすると、フロントコンタクトボタンが表示され、そのボタンをタップすることで当該施設に電話予約ができる仕組みだ。アプリへの個人情報の登録は一切不要（※iPhoneの場合には初回利用時に電話番号の登録のみ必

要）である。

このサービスの強みは、「急に宿泊先を探さなければいけなくなった」というシチュエーションに対して、非常にシンプルな方法で解決できるという点にある。通常、こういったサービスでは会員登録など個人情報の登録やGPSの設定が必要になりがちであるが、「探宿DIAL」では利用者側の立場に立ち、それらの煩わしさを解消し、さらには端末負荷をも軽減している。また、施設への連絡を「直接電話する」という方法を採用することで、個人情報の登録を不要にした。さらに、空室情報の管理は施設側が行うため、組合側にはシステム維持管理以外のコストは発生しない。そのため、施設が組合に支払う費用（成果型広告費）は、破格ともいえる料金設定が可能となった。

現在は、登録施設データベース整備の最終作業に取りかかっており、サービスリリースは12月中旬頃を予定している。これからの忘年会・新年会シーズンでの活用も期待されるサービスである。



「探宿DIAL」の仕組み

■お問い合わせ先：

探宿DIAL：http://189489.jimdo.com/

お問い合わせ電話番号：050-5856-3844